

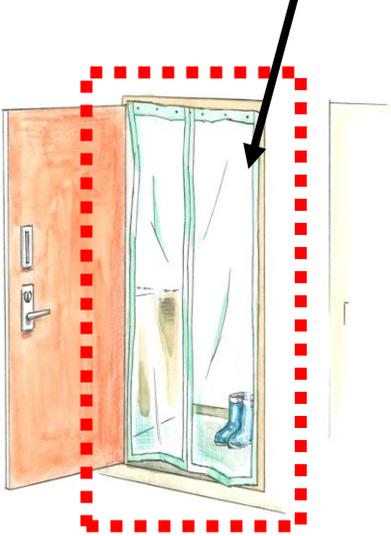
ハエ、蚊などからくらしを守るために

入れない、つかまえる、発生させない

いま、できること

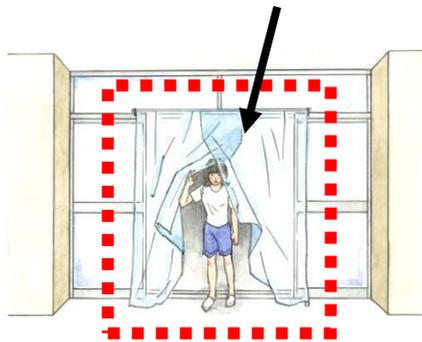
1. ハエ、蚊を屋内に入れられないためにできること

① メッシュのカーテン



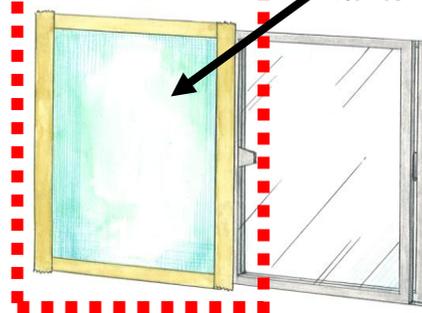
応急仮設住宅等の玄関扉の内側に「玄関カーテン」と呼ばれるメッシュのカーテンを取り付けると、ハエや蚊が玄関から入ってくるのを防ぐことができます。

② 防虫ネット2枚を1mほど重ねて2重に設置する



学校施設が避難所になっている場合は、出入り口が大きく開いています。防虫ネット2枚を1mほど重ねて2重に設置し、人はネットの間をくぐり抜けるように入りますと、ハエや蚊が入ってくるのを防ぐことができます。

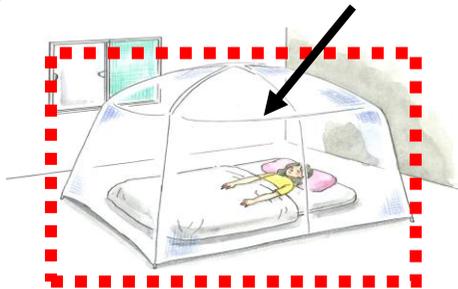
③ ネットなどを窓枠の外側に粘着テープなどで貼り付ける



応急仮設住宅の窓は、サイズや規格が一般的なものと違う場合があります。加工しやすいネットなどを窓枠の外側に粘着テープなどで貼り付けると、暑い時は窓を開けておくことができ、風通しも確保できます。

2. 室内、炊き出しテントでできること

① 部屋の中に蚊帳を設置する



応急仮設住宅の部屋の中に蚊帳(かや)を設置すると、窓を開けたまま寝ることができます。

② テントの側面全体をネットで覆う

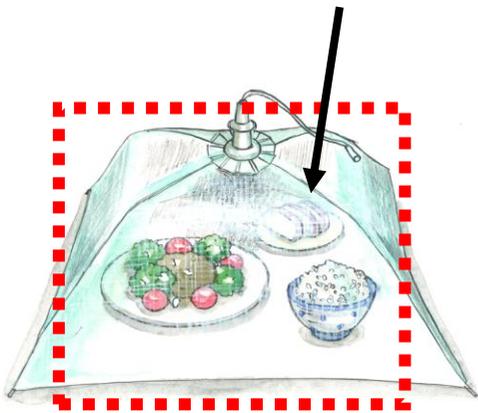


炊き出しをする時など、屋外でテントを張って調理する場合は、テントの側面全体をネットで覆うと、ハエ類が入ってくるのを防ぐことができます。

2. 室内、炊き出しテントでできること（つづき）

③

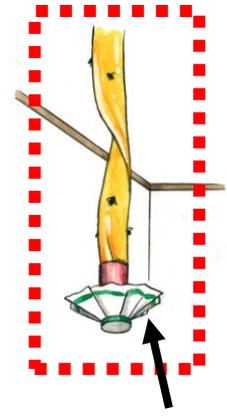
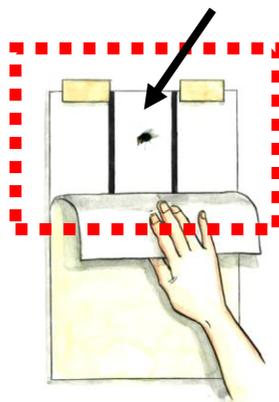
食事には蠅帳やラップをかけておく



避難所の食堂などで料理を並べる時、ハエ類が食品にとまらないように、蠅帳(はいちょう=食卓を覆う傘状の網)をかぶせたり、ラップをかけておく方法があります。

④

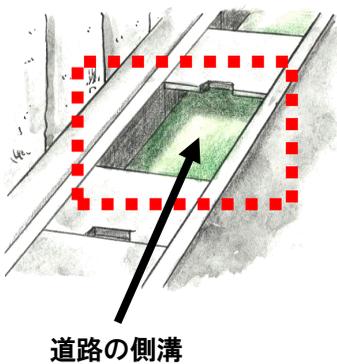
粘着シートを取り付ける



ハエ取りボンをぶら下げる

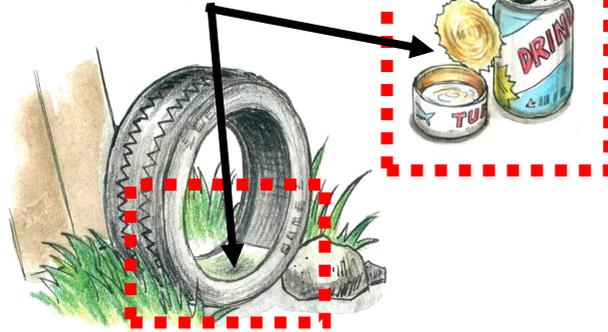
避難所の食堂内外や居住スペース、応急仮設住宅等の室内では、ハエ取りリボンをぶら下げたり、ハエ取り用粘着シートを取り付けておくのが効果的です。

3. 蚊を発生させないためにできること

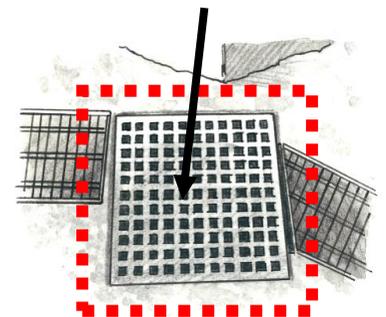


道路の側溝

空き缶や古タイヤに
たまった水



建物の雨水マス



避難所や応急仮設住宅周辺の排水溝が詰まっていると、水たまりができて、蚊の幼虫が発生します。応急的な処置としては、幼虫駆除の薬剤が簡単で有効です。建物の雨水マスなど、水がたまりやすい場所に幼虫駆除の薬剤を処理しておくのも、蚊の発生を抑える効果が期待できます。空き缶やバケツ、花立て、古タイヤ、がれきの小さな水たまりでも蚊の幼虫が発生します。いらぬ容器を捨てたり、水を1週間に1度は捨てるのが大切です。

4. 照会先

害虫対策全般に関するご相談

国立感染症研究所昆虫医科学部

TEL : 03-5285-1111 FAX : 03-5285-1178

ハエ・蚊防除等に関するご相談

日本防疫殺虫剤協会

担当/池田(いけだ)専務理事

TEL : 03-5296-0300 FAX : 03-5209-6501